

令和6年度 都城医療センター 労働時間短縮計画

**計画期間**

令和6年4月～令和7年3月末

**対象医師**

外科医師（3名）

呼吸器外科医師（1名）

呼吸器内科医師（2名）

産婦人科医師（5名）

耳鼻咽喉科医師（1名）

小児科医師（5名）

消化器内科医師（1名）

泌尿器科医師（3名）

麻酔科医師（3名）

整形外科医師（1名）

**1. 労働時間と組織管理（共通記載事項）**

**（1）労働時間数**

外科医師（3名）

年間の時間外・休日労働時間数	前年度実績	当年度目標	計画期間終了年度の目標
平均	652 時間	680 時間	660 時間
最長	697 時間	700 時間	680 時間
960 時間超～1,860 時間の人数・割合	0 人・0%	0 人・0%	0 人・0%
1,860 時間超の人数・割合	0 人・0%	0 人・0%	0 人・0%

呼吸器外科医師（1名）

年間の時間外・休日労働時間数	前年度実績	当年度目標	計画期間終了年度の目標
平均	350 時間	400 時間	400 時間
最長	350 時間	400 時間	400 時間
960 時間超～1,860 時間の人数・割合	0 人・0%	0 人・0%	0 人・0%
1,860 時間超の人数・割合	0 人・0%	0 人・0%	0 人・0%

### 呼吸器内科医師（2名）

年間の時間外・休日労働時間数	前年度実績	当年度目標	計画期間終了年度の目標
平均	703 時間	720 時間	700 時間
最長	796 時間	800 時間	800 時間
960 時間超～1,860 時間の人数・割合	0 人・0%	0 人・0%	0 人・0%
1,860 時間超の人数・割合	0 人・0%	0 人・0%	0 人・0%

### 産婦人科医師（5名）

年間の時間外・休日労働時間数	前年度実績	当年度目標	計画期間終了年度の目標
平均	670 時間	700 時間	700 時間
最長	885 時間	800 時間	800 時間
960 時間超～1,860 時間の人数・割合	0 人・0%	0 人・0%	0 人・0%
1,860 時間超の人数・割合	0 人・0%	0 人・0%	0 人・0%

### 耳鼻咽喉科医師（1名）

年間の時間外・休日労働時間数	前年度実績	当年度目標	計画期間終了年度の目標
平均	300 時間	320 時間	320 時間
最長	300 時間	320 時間	320 時間
960 時間超～1,860 時間の人数・割合	0 人・0%	0 人・0%	0 人・0%
1,860 時間超の人数・割合	0 人・0%	0 人・0%	0 人・0%

### 小児科医師（5名）

年間の時間外・休日労働時間数	前年度実績	当年度目標	計画期間終了年度の目標
平均	409 時間	430 時間	430 時間
最長	546 時間	580 時間	580 時間
960 時間超～1,860 時間の人数・割合	0 人・0%	0 人・0%	0 人・0%
1,860 時間超の人数・割合	0 人・0%	0 人・0%	0 人・0%

### 消化器内科医師（1名）

年間の時間外・休日労働時間数	前年度実績	当年度目標	計画期間終了年度の目標
平均	409 時間	430 時間	430 時間
最長	409 時間	430 時間	430 時間
960 時間超～1,860 時間の人数・割合	0 人・0%	0 人・0%	0 人・0%
1,860 時間超の人数・割合	0 人・0%	0 人・0%	0 人・0%

### 泌尿器科医師（3名）

年間の時間外・休日労働時間数	前年度実績	当年度目標	計画期間終了年度の目標
平均	506 時間	530 時間	530 時間
最長	634 時間	650 時間	650 時間
960 時間超～1,860 時間の人数・割合	0 人・0%	0 人・0%	0 人・0%
1,860 時間超の人数・割合	0 人・0%	0 人・0%	0 人・0%

### 麻酔科医師（3名）

年間の時間外・休日労働時間数	前年度実績	当年度目標	計画期間終了年度の目標
平均	529 時間	550 時間	550 時間
最長	604 時間	630 時間	630 時間
960 時間超～1,860 時間の人数・割合	0 人・0%	0 人・0%	0 人・0%
1,860 時間超の人数・割合	0 人・0%	0 人・0%	0 人・0%

### 整形外科医師（1名）

年間の時間外・休日労働時間数	前年度実績	当年度目標	計画期間終了年度の目標
平均	122 時間	130 時間	130 時間
最長	122 時間	130 時間	130 時間
960 時間超～1,860 時間の人数・割合	0 人・0%	0 人・0%	0 人・0%
1,860 時間超の人数・割合	0 人・0%	0 人・0%	0 人・0%

## (2) 労務管理・健康管理

### 【労働時間管理方法】

前年度の取組実績	IC カードによる出退勤管理と登録データの定期的なチェック
当年度の取組目標	上記事項に取り組む
計画期間中の取組目標	同上

### 【宿日直許可の有無を踏まえた時間管理】

前年度の取組実績	労働基準法施行規則第 23 条の宿日直許可に基づき適切に取り組む
当年度の取組目標	上記事項に取り組む
計画期間中の取組目標	同上

### 【自己研鑽の労働時間該当性を明確化するための手続等】

前年度の取組実績	時間外に実施する研修等について、自己研鑽（自由参加）か業務対象（義務参加）かを明示
当年度の取組目標	上記事項に取り組む
計画期間中の取組目標	同上

### 【労使の話し合い、36 協定の締結】

前年度の取組実績	労働組合の代表者と月 1 回協議の場を設けて、様々な問題点について協議し、36 協定の締結に当たっては、労働者の過半数を代表するものと協議・締結して、届け出た 36 協定を医師を含む全職員に周知する
当年度の取組目標	上記事項に取り組む
計画期間中の取組目標	同上

### 【衛生委員会、産業医等の活用、面接指導の実施体制】

前年度の取組実績	<ul style="list-style-type: none"><li>・安全衛生委員会を月 1 回開催する</li><li>・健康診断を年 2 回実施する</li><li>・勤務負担軽減が必要な職員や一定以上の長時間勤務を行っている職員について、産業医による面談を実施する</li></ul>
当年度の取組目標	上記事項に加えて、面接指導実施医師養成講習会

	を受講した医師による面談を実施する体制を整える
計画期間中の取組目標	同上

### 【追加的健康確保措置の実施】

前年度の実績	－（令和6年度から開始）
当年度の実績	勤務間のインターバル（9時間）の確保
計画期間中の取組目標	同上

## （3）意識改革・啓発

### 【管理者マネジメント研修】

前年度の実績	厚生労働省委託事業のトップマネジメント研修に院長が参加する
当年度の実績	院長がトップマネジメント研修に参加し、その研修内容を各診療科長に伝達する
計画期間中の取組目標	上記事項に取り組む

## （4）策定プロセス

各職種（医師、看護師、薬剤師、放射線技師、臨床検査技師、栄養士、理学療法士、事務職員）の代表者が参画する「職員の勤務負担軽減委員会」を開催し、この計画の検討を行い策定した。各職場長から出た意見を基に検討を行い、職員の負担軽減委員会で策定し、院内掲示板に掲示して周知を図っている。

## 2. 労働時間短縮に向けた取組

### （1）医師のタスク・シフト／シェア

#### 【看護師】

計画策定時点での取組実績	薬剤の投与量の調節、静脈注射などルート確保、救急医療等における診療の優先順位の決定、入院中の療養生活に関する対応、患者・家族への説明、採血・検査についての説明、薬剤の管理について、看護師で対応を行うよう役割分担を進めた
--------------	---

計画期間中の取組目標	上記取り組みを引き続き実施する
------------	-----------------

### 【薬剤師】

計画策定時点での取組実績	薬剤師へオーダー変更権限を付与し、必要時に薬剤師でも処方変更をできるように運用の変更を行った
計画期間中の取組目標	上記取り組みを引き続き実施する

### 【医師事務作業補助者】

計画策定時点での取組実績	診療科により相違する事務処理等の業務負担を解消するため、医師事務作業補助者の適正な配置を行い、医師の書類作成、入力等業務の削減を行った
計画期間中の取組目標	上記取り組みを引き続き実施する

### 【事務助手（委託を含む）】

計画策定時点での取組実績	麻酔記録入力業務について、事務補助を配置し、麻酔科医師の負担軽減を図る。
計画期間中の取組目標	上記取り組みを引き続き実施する

## （2）看護師のタスク・シフト／シェア

### 【薬剤師】

計画策定時点での取組実績	薬剤助手を薬剤部に配置し、病棟薬剤業務を充実させ、病棟職員の勤務軽減を図る
計画期間中の取組目標	上記取り組みを引き続き実施する

### 【看護クラーク】

計画策定時点での取組実績	各病棟に看護クラークを適正配置し、業務軽減を図る
計画期間中の取組目標	上記取り組みを引き続き実施する

### 【看護補助者】

計画策定時点での取組実績	各病棟に看護補助者を適正配置し、業務軽減を図る
--------------	-------------------------

	る
計画期間中の取組目標	夜間帯にも各病棟に看護補助者（派遣）を適正配置し、業務軽減を図る。

### **（３）医師の業務の見直し**

計画策定時点での取組実績	外部医師の招聘による診療援助により負担軽減を図った
計画期間中の取組目標	上記取り組みを引き続き実施する

計画策定時点での取組実績	麻酔科医師は3名体制で行っており、平日の当直を行うと、手術に影響が出るため、麻酔科医師の平日の当直を免除
計画期間中の取組目標	上記取り組みを引き続き実施する

計画策定時点での取組実績	産婦人科は5名体制で診療を行っており、当直も産婦人科のみで対応しなければならないため、産婦人科医師の交代制勤務の確立を図る
計画期間中の取組目標	当直翌日に年休を取得出来る体制の整備、外部医師の招聘による診療援助の充実

計画策定時点での取組実績	時間外における患者死亡確認を当直医が行い、主治医の負担軽減を図る
計画期間中の取組目標	上記取り組みを引き続き実施する

計画策定時点での取組実績	医師の連続当直を行わないような勤務割表の作成
計画期間中の取組目標	上記取り組みを引き続き実施する

### **（４）看護師の業務の見直し**

計画策定時点での取組実績	入院支援（入院説明や持参薬の確認等）を入退院支援センターで行い、業務の軽減を図る
--------------	--

計画期間中の取組目標	上記取り組みを引き続き実施する
------------	-----------------

計画策定時点での取組実績	患者・家族への IC（説明と同意）を時間内に実施し、業務負担軽減を図る
計画期間中の取組目標	上記取り組みを引き続き実施する

計画策定時点での取組実績	警備員を配置し、見舞い者等の管理体制を強化することで、業務負担軽減を図る
計画期間中の取組目標	上記取り組みを引き続き実施する

計画策定時点での取組実績	e-ラーニングシステムを導入し、研修担当職員の負担軽減を図る
計画期間中の取組目標	上記取り組みを引き続き実施する

#### **（５）その他の勤務環境改善**

計画策定時点での取組実績	院内での会議について、勤務時間外に実施していた会議を時間内に実施するよう調整を図った
計画期間中の取組目標	上記取り組みを引き続き実施する

#### **（６）副業・兼業を行う職員の労働時間の管理**

計画策定時点での取組実績	特になし
計画期間中の取組目標	兼業先に労働時間短縮の協力要請を行い、また、労働時間の実績について情報提供を依頼して、当院の労働時間と併せて管理する

#### **（７）C-1水準を適用する臨床研修医及び専攻医の研修の効率化**

計画策定時点での取組実績	—
計画期間中の取組目標	—